

KIDO FP OFFICE Finance NEWS

2019.4.5 Vol.17

景気動向の見方

本日4月1日（月）、新元号が発表されました。みなさま新元号はどんな形で知りましたか？スマホのニュース速報という方も多いのではないのでしょうか？これが、平成に改元されたときと大きな違いだと思います。30年もあれば私たちを取り巻く環境は大きく変わるものです。私もネット中継でその瞬間を見ることが出来ました。個人的には大変よい元号だと思います。

改元の裏で日銀短観発表 数値は悪化！

さて、新元号に隠れて目立ちませんでしたが、同時に「日銀短観」という統計も日本銀行から発表されました。こちらは日銀が大、中小企業の社長さんに自社の業績について現状や先行きをどう見ているか？をアンケート調査して数値化しているものです。1日に発表された内容は、景気がよいと回答した企業の割合から悪いと回答した企業の割合の数値が製造業の大企業がプラス12になり、プラス19だった前回調査より7ポイントも悪化した、というものです。これは9ポイント悪化した6年3か月前以来の出来事で、新元号の発表がなければけっこう大きく取り上げられていたはずの報道でした。

ほかにもある景気・経済状況を示す国の指標

景気や経済の状況を示す国の行政機関が発表する指標はこの他にも多数あります。

GDP、景気動向指数、有効求人倍率、完全失業率、消費者物価指数、企業物価指数、鉱工業生産指数、機械受注など

これらは景気に先行して変化するとされる先行指数、同時に変化するとされる一致指数、あとから変化するとされる遅行指数に分けられます。例えば先行指数である有効求人倍率は何か事業を始めよう、あるいは売り上げが伸びて人が足りないから新しく雇おう、という場合は上がります。遅行指数である完全失業率は、多くの採用があった後であれば下がるはずですが、つまり各種統計をとって先行指数から遅行指数まで数値が変化して、初めて景気が良くなった悪くなったときちゃんと判断されるのです。

日経平均株価も指標のひとつ

毎日取引されている株式や債券など、金融市場を代表する指標が日経平均株価です。

日経平均株価は、日本経済新聞が選んだ東京証券取引所第一部上場企業を代表する225社の株価を指数化したものです。平日の昼と夕方新聞やテレビで必ず報道されていますが、先き行き景気がよくなって株価が上昇すると見込んで人気が出れば株価は上昇しますし、悪くなるなどなれば株価は下落しますから、景気を先行して表すとされています。

改元のご祝儀相場というには

4月1日の値動きを見ると、新元号発表直前の11時30分の前場の終値は前日比473円超の値上がりでしたが、後場は投資家の利益確定売りが多くなりその後はジリジリと値を下げて303円高に収まりました。日経平均だけ見ると改元のご祝儀は織り込み済みで、昨年10月2日に24,442円を付けて以降、今年に入ってからさらに元気がない相場の流れを変えるような勢いはなかったように思います。

金融市場は(休日を除いて)毎日開場しているので、膨大な種類の指数や価格があります。

日本の主なもののだけでも

日経平均株価225、TOPIX、東証REIT指数、米ドル/円為替レ

ート、日本国債10年

物年利回り、無担保コ

ール翌日物レート、日

経VIなどなど

日本以外でも同様の項

目が発表されています

から、世界中それこそ

大変な数になり、毎日

のように発表されてい

ます。

経済アナリストなどの

専門家はこれらのあら

ゆる指標を見て、組み

合わせて今後の経済動

向を予測するのです。



ファイナンシャルコーチ城戸が参考にしてている指標

多種多様なデータの中から私がよく見ているのは日経平均株価225、TOPIX、米ドル/円、日経VIという株式相場の動き具合を見る指数、それからバルチック海運指数という世界中の船の運賃を指数化したものを参考にしてしています。日銀短観も景気の先行きの判断で3か月に1度の発表は必ずチェックしています。中々難しいですが、例えば日経平均株価だけでも毎日見ているとなんとなく、上下するのはこういう理由か、とわかってくるような気がします。ご参考まで。

KIDO FP Office

〒241-0835 神奈川県横浜市旭区柏町131 番地1-201

website <https://www.fp-kido.com/> e-mail info@fp-kido.com

© Copyright 2017城戸FP金所 - All rights reserved.